



教育関係者・事業者部門 消費・安全局長賞 《教育等関係者》

なかしべつ

北海道中標津農業高等学校

(北海道) 活動期間 15年

食農教育の深化と進化 ～“食への感謝”を計根別から中標津町全域へ～

高校生がつなぎ役 町全体での食育活動

本校の位置する中標津町計根別地区は、小さな町ながらも幼・小・中・高と学校種がそろっており、地区内の学校と連携を図り、幼稚園児から中学生まで全学年を対象とした食農教育を実践しています。

また、平成30年度より町全体へ活動を広げるべく、町内の小中学校の希望者に対する食農教育「なかのうスタイル」も開始しました。



園児とのジャガイモ収穫体験

「計根別食育学校」& 「なかのうスタイル」

幼稚園児に対する活動として始まった「計根別食育学校」は、その後、小中学校全学年に広がり、平成30年に、それまで計根別地区限定であった活動が中標津町全域を対象とする「なかのうスタイル」を開講しました。

また、計根別食育学校においては、平成31年から地域企業の協力を得て、公共園場の活用が可能となり、より地域に開かれた食農教育へと活動の幅が広がっています。

長年取り組んでいる本活動は、地域の食育推進に大きく貢献しています。

アイデア創出体験授業



高校生による
地域特産物の授業

発達段階に応じた 体験プログラム

対象児童の学年に合わせ、
幼稚園⇒感じる心を育てる
小学生⇒学ぶ意欲を育てる
中学生⇒自ら考え人に伝える能力を育てる
を学習目標として、農家や地域企業、町役場等と打合せを重ね、発達段階に応じた体験プログラムを組んで、12年間継続した食農教育を行っています。



小学生：
カボチャの支柱立て



中学生：
ビーフジャーキー加工体験



私たちは、町唯一の農業高校で学ぶ生徒として、食農育活動を通して少しでも地域の発展に役立てるよう頑張ってきました。

今回の受賞は、私たちの活動が認められたと同時に、連携している皆さんに恩返しのできたようでとても嬉しいです。

マネージメント研究班代表
須藤 和美 (すどう なごみ)